

大阪市なくさんといて

市役所周辺で緊急行動



「大阪市をなくすな」と訴える市民ら=13日、大阪市

橋下・維新は退場 野望打ち砕こう

大阪市を廃止・解体する「大阪都」構想の協定書議案の議決に抗議しようと13日、大阪市役所前で「えらいこっちゃん！」大阪市がなくなるで！ 3・13緊急市民行動」が行われました。「大阪市がな

くなるで！ えらいこっちゃんの会」が呼びかけ、約80人が「大阪市をなくすな」と訴えました。この会は各団体の代表が集まることで、「民意の表」が作成されました。この会は、辻公雄弁護士は

「住民投票で棄権、白紙は何のプラスにもならない。反対票を入れないと有効にならないことを呼びかけたい」と決意表明。政治団体「民意の表」の浅野秀弥代表

は、「ともに、思想に関係なく、住民投票を通して橋下徹（市長）を政界から追い出すことが一番の目的だ。みんなと一緒に盛り上げていきたい」と述べました。

「大阪市なくさんといてよ！」市民ネットは、団体設立の趣旨を説明し、「いろんな人

ワーク」の梅田章二弁護士は、「橋下市長は、都になれば大阪が経済的に成長するという。わけがわからん。都になつて経済的に成長するなら、どこの県もするはずだ。わからないものに対しても、反対といふ声を上げていきたい。大きな声を上げて、橋下・維新的野望を打ち砕こう」と呼びかけました。